

足羽川における河道改修効果及び 水位計算について

平成17年7月19日

近畿地方整備局
福井県

-1-

読売新聞
平成17年4月14日(木)

増水対策

足羽川改修で可能?

県試算 7月豪雨並みならダム不要

福井豪雨並みの増水に備ら流域住民への説明会も
えるためとして、国土交通 始まり、議論を呼びそう
省が河川整備計画の原案に
ダム建設を盛り込むことを
決めた足羽川について、豪
雨と全く同じ降り方だった
場合、県などが進める河川
改修だけで対応できること
が13日、わかった。

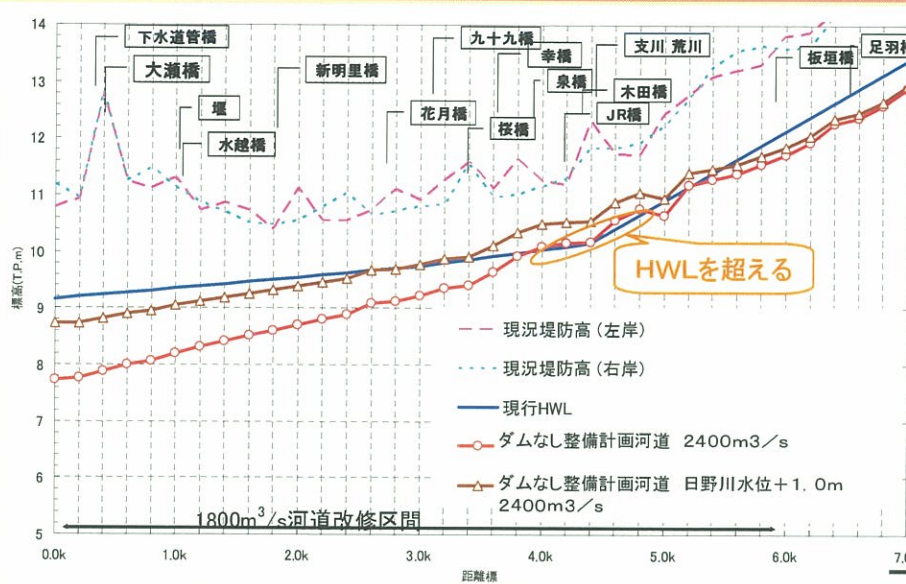
同省と県は、下流で合流
する日野川なども増水した
場合の水位を計算し、足羽
川ダムの必要性を検討。
同ダムについては14日か
を想定した。

福井豪雨では、同川の流
量は毎秒2400トに達
し、県や国は被災後に改修
を進めるが、対応できるの
は1800トまでで、ダム
建設が必要としている。県
や国は改修後の最大流量を
算出する際、九頭竜川や日
野川流域にも強い雨が降
り、水位が上がる場合
を想定した。

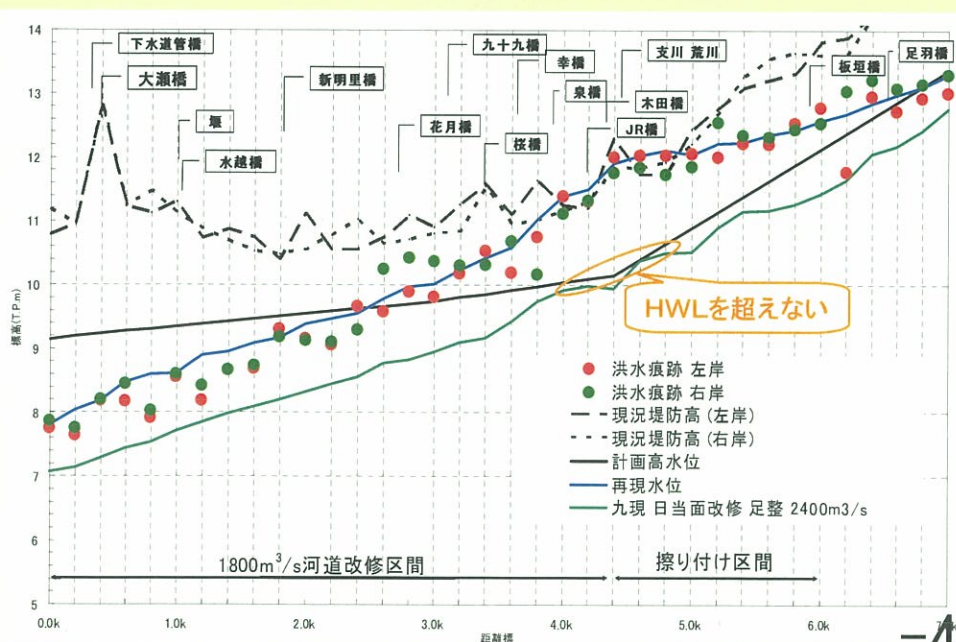
ところが、豪雨時には、
九頭竜川や日野川で増水が
ほとんどなかったため、県
がシミュレーションしたと
ころ、同じ降り方なら、改
修後の足羽川に毎秒240
0トが流れても、危険水位
に達しないことが判明。さ
らに日野川が1メートル増水して
も、危険水位は約0.5メ
ートル超えるが、堤防頂上までは
0.5メートル以上余裕があるこ
ろ。

住民への説明資料にはこ
うした記述はなく、同省
足羽川ダム工事事務所は
「雨の降り方で他の川が
増水する可能性は十分に
あり、対策が必要」とし
てい

①河床掘削による効果 (2) 足羽川整備後の水位 (福井豪雨時の場合)



足羽川における河道改修計画について説明資料



水位計算における基本的考え方

	第25回九頭竜川流域委員会(河川整備計画対応)	足羽川における河道改修計画について説明資料 (激甚災害特別緊急事業対応)
今回の水位計算の基本的考え方	九頭竜川・日野川・足羽川で河川整備計画の河道改修実施後に福井豪雨規模の出水が発生した場合の足羽川の水位について計算	日野川・足羽川で当面改修実施後(激特+緊特完成)に福井豪雨と同じ出水が発生した場合の足羽川の水位について計算
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 事業の考え方の差より、計算出発水位、3川合流時差考慮、氾濫流戻し等の計算条件が異なる。 </div>		
事業の考え方	河川整備計画目標に対して不確実な各種条件を考慮しても被害が生じないようにすることを目指す。	再度災害防止の観点から福井豪雨と全く同じ洪水が再度発生しても被害が生じないようにすることを目指す。 -5-